

私たちの活動のフィールド＝大山公園の造成は、昭和15（1940）年にさかのぼります。本年4月には開園八十周年記念式典を挙行了しました。

大山公園はかつて地域を支配していた武藤氏の山城のあったところですが、滅亡後城址は荒廃し、昭和に至って地元の酒造家・加藤嘉八郎氏が私財を投じて公園を造成し、町民の憩いの場として蘇りました。

私たち大山公園再生協議会は、戦中戦後の混乱を経て再び荒れてしまった大山公園の再生を願い、平成20年に活動を開始した団体です。



景観を妨げる雑木を間伐、植生を整備する作業を続けています。間伐した木材はチップ化。共同撒布を行う事で、地域の子どもたちと豊かな自然環境を体感します。



園地内で行われたチップ作り。晩秋の彩りに包まれながら、間伐した木材と、再生協議会メンバーが集めた枝をチップパーへ投入します。



公園散策路へのチップ撒きは、「高館山少年教室」との共同事業です。大山公園再生協議会では、世代を超えた公園の管理保全に努めています。

大山公園再生協議会



私たちの活動（令和3年度）

- 2021.4.18 大山公園開園八十周年記念式典
- 2021.5.13 大山公園再生協議会理事会
- 2021.5.24 大山公園再生協議会評議員会
- 2021.6.11 大山公園整備作業（35名参加）
- 2021.7.10 安全研修に参加（於、学びの里 TASSHO）
- 2021.9～11 大山公園愛護作品の募集と展示（52点）
- 2021.10～ 「豊かな森づくり活動」事業（雑木・支障木の間伐）
- 2021.11～ 「豊かな森づくり活動」事業（チップ製作と撒布）
- 2021.11.6 「木に親しむ環境づくり」事業（木製ベンチ作り）

□木製ベンチ作りに挑戦しました。地元大工さんの協力を得て、県産木材を組み立てて作りあげたベンチです。

□組立は少し難しかったけど、ペンキ塗りでは男の子も女の子も大はしゃぎ！手分けして公園の遊歩道にチップ撒きもおこない、豊かな森の恵みを実感する1日になりました。

□感性豊かな「作品」には、大山公園の遊園地などで出会うことができます。

大山公園再生協議会

997-1123
山形県鶴岡市友江町23-71
大山コミュニティセンター内
0235-33-3213
ooyamacc@bz03.plala.or.jp